

第40回全日本トライアスロン皆生大会 参加申込書(鳥取県市町村対抗リレーの部)

受付	

(上記欄は記入しないで下さい。)

参 加 申 込 書

申込先自治体名							
スイム担当予定者	(1)	ふりがな		生年 月日	昭和・平成 年 月 日	性 別	男 女
		氏 名					
		トライアスロンのレース歴(大会名・順位・タイム)					【参加資格】 申込自治体の該当する条件に○印 ①現住所がある ②現勤務先がある ③本籍がある ④小・中学校、高等学校、大学または専門学校に在学経験
	スイムのレース歴(大会名・順位・タイム)・競技記録の無い方は、400m又は800mの練習タイムを記入して下さい。						
バイク担当予定者	(2)	ふりがな		生年 月日	昭和・平成 年 月 日	性 別	男 女
		氏 名					
		トライアスロンのレース歴(大会名・順位・タイム)					【参加資格】 申込自治体の該当する条件に○印 ①現住所がある ②現勤務先がある ③本籍がある ④小・中学校、高等学校、大学または専門学校に在学経験
	バイクのレース歴(大会名・順位・タイム)・競技記録の無い方は、練習タイムを記入して下さい。						
ラン担当予定者	(3)	ふりがな		生年 月日	昭和・平成 年 月 日	性 別	男 女
		氏 名					
		トライアスロンのレース歴(大会名・順位・タイム)					【参加資格】 申込自治体の該当する条件に○印 ①現住所がある ②現勤務先がある ③本籍がある ④小・中学校、高等学校、大学または専門学校に在学経験
	マラソンのレース歴(大会名・順位・タイム)・競技記録はフルマラソンでなくても可。						
補欠予定者	(4)	ふりがな		生年 月日	昭和・平成 年 月 日	性 別	男 女
		氏 名					
		スイム又はバイク又はランのレース歴(大会名・順位・タイム)					【参加資格】 申込自治体の該当する条件に○印 ①現住所がある ②現勤務先がある ③本籍がある ④小・中学校、高等学校、大学または専門学校に在学経験

下記はチームリーダーのみご記入下さい。

チームリーダー氏名							
ふりがな	〒 _____ *都道府県名から記入して下さい。						
住所							
自宅TEL				携帯TEL			
E-mailアドレス	PC				携帯		
勤務先名(所属部署)				勤務先TEL()	-	内線()	
緊急連絡先(本人以外)	自宅・勤務先・その他()			TEL()	-		

チームPR(簡単に)

■落選した場合は、通常のリレーの部への申込を希望する(どちらかに○印) 希望する ・ 希望しない

チーム名							
------	--	--	--	--	--	--	--

●4名まで申込みできますが必ず3名の記載が必要です。 ※チーム名は10文字以内でお願いします。
 ●各担当種目は開会式の受付時に決定して下さい。

※頂いた個人情報は、原則として個人情報の保護に適用される法令を遵守し、使用いたします。ただし、当協会の運営上効果的と思われる情報発信業務に適用することをご了承下さい。選考結果通知及び大会に関する情報の通知手段として使用する以外は、本人の承諾がない限り使用いたしません。

第40回全日本トライアスロン皆生大会 申し込みに際しての注意事項

第40回全日本トライアスロン皆生大会の参加申し込みに関して、下記の注意事項を十分理解し、同意の上で、申し込んでください。

1. 出場決定後であっても、公序良俗に反する行為をした場合や主催者が大会出場資格を有しないと判断した場合は、出場を取り消すこともあります。
2. 本大会は日本トライアスロン連合（JTU）の競技規則並びに皆生大会のローカルルールに基づき実施します。大会参加者は事前に送付する第40回全日本トライアスロン皆生大会「競技説明資料」を熟読し、皆生大会のルールを十分理解した上で参加してください。
3. 本大会は、交通規制を設けないため、公道上の競技は、交通規則の順守が義務付けられます。
4. 水泳競技でのウェットスーツは、水温22度以上の場合、着用自由とします。
5. 競技コースは、道路及び交通事情の変化、安全面などを考慮し、当初予定していたコースを見直す場合があります。
6. 鳥取県道路交通法施行細則の一部改正により、自転車の警音器（ベル）が義務付けられています。
7. 大会主催者の責によらない事由で大会が中止となった場合、参加料の返金はありません。また、レースナンバー確定後に出場を辞退した場合も同様に参加料の返金はありません。
8. 大会参加に関しては十分トレーニングし、事前に健康診断を受診するなど、体調管理に十分留意した上で参加してください。
9. 自転車のメンテナンス等、安全管理は各自の責任において行って下さい。
10. 大会での事故等による補償の範囲は、大会主催者が加入する傷害保険の適用範囲内とします。
11. 競技中、参加者本人の意思に関係なく、大会本部より競技の続行中止の勧告、命令を出す場合があります。
12. 大会に関する肖像権は大会主催者に帰属します。大会のPRのため選手の情報をマスコミに提供する場合があります。